

鈴木貞美『「文芸春秋」とアジア太平洋戦争』誤記誤植訂正表(細かな記号類は除く)。

(7/3 補追)

p.71.10 続く。 → いう。

p.241.12 『文藝時評』 → 『文学時標』

p.46-1.3 心に → 心を

p.471.3 彼の → 彼が

p.701.5 しかし、ふつう文藝雑誌 → しかし、文藝雑誌

p.80-1.1 のもつ → が

p.811.1 稗史 → 中国古代の稗史

p.1091.4 王国緯 → 王国維

p.1301.7 久米正男 → 久米正雄 (p.131-1.7 も同じ)

p.1361.4 しばらく伏せられていた。 → 数日して伏せられた。

p.138-1.2 さまざまな宣伝イベントを支えてきた『話』を廃刊にして、 → トル

p.148-1.7～ 乱文訂正。「明治以来行ってきたアジアに対する侵略と独立支援のふたつの戦略を結びつけた瀾縫策であり、その実際は傀儡的「親日」政権をつなぐものだった。「満洲国」、北京の王克敏親日政権、それに古参革命家、王精衛を担ぎ出して、傀儡政権連合を作り出し」に。

p.163-1.5 他方で、俳句を「要らない肥料」と に訂正

p.164-1.4 「作家、」をトル

p.165 1.6 東京外国語大学→東京外国語学校

p.1661.1 短絡を → 短絡と

-1.2 無理なく持っていくには、 に訂正

p.169-1.3 その三九年 → 翌三九年

p.1911.7 日・華・満 → 日・支・満

p.1971.5 春秋』は、 → 春秋』が、

p.205 1.5 オランダ領インド諸島→オランダ領インド諸島 (現インドネシア)

ビルマ→英領ビルマ

p.205-1.5 目的とす」という定款を削除。 → 目的とす」という定款を掲げる。

p.2291.3 行方は見えていた日本からは → 行方は見えていた。日本からは

p.259-1.1 つかまらずに、 → つかまらずに相手を裁くやり方だ。